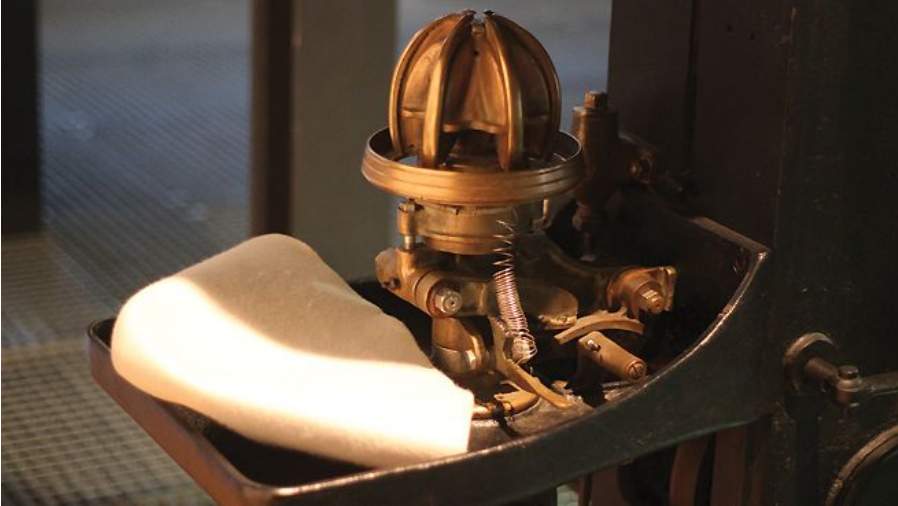


帽子博物館 (Museu de Chapelaria)

について



ここは1914年、サン・ジョアン・ダ・マデイラ (São João da Madeira) の名士で、のちに当時の政府に産業・農業功労賞を授与されたアントニオ・ジョゼ・オリヴェイラ・ジュニオールによって創設され、その頃の人々に「新工場」(Fábrica Nova)として知られるようになったところです。

工場は製造技術にかけては革新的で、常に市場のニーズを把握して最先端を走りました。この会社は、メリノウール(ファインウール)の帽子の商品化も行いました。いわゆる「ファッション帽」と呼ばれるもので、従来製造されてきた、きめの粗いウールの帽子とは全く異なるものでした。このファッション帽の製造機と製造技術を有するポルトガル唯一の企業として、エンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社 (Empresa Industrial de Chapelaria) は長年にわたりその製造と販売を独占していました。

帽子産業の黎明期からの歴史の一部を担い、結果として、その繁栄と衰退の時代をともに歩んだエンプレサ・インドゥストリアル・デ・シャペラリア社は1995年に閉鎖されました。同社は、帽子づくりを生涯の仕事とした帽子製造者や職人を何世代にもわたって雇用、育成した工場のイメージと永遠に結びつけられるでしょう。

オリヴェイラ・ジュニオール通り (Rua Oliveira Junior) にあり、現在、帽子博物館 (Museu de Chapelaria) が入居する建物は、均整のとれた落ち着いたデザインで知られ、それ自体がポルトガル建築史の一時代を映すものとなっています。

問い合わせ先

Rua Oliveira Júnior, 501 3700-204 São João da Madeira
電話 : +351 256 201 680
Eメール: museu.chapelaria@gmail.com
ウェブサイト: <http://museudachapelaria.blogspot.com>

特色とサービス

ショップ
レストラン